

また、実態を把握した上で、タブレットを活用し、オンライン配信を行う等、学校とのつながり確保等の支援に努める。



安心して暮らせる地域づくりを

【問】性の多様性の理解に取り組みNPOによると、小学3・

4年生で自身の性に気づき始め、悩むことが多いため、小学生から誰もが希望し安心して暮らせる地域づくりを学ぶことは重要である。区は「性の多様性に関する困りごと対応マニュアル」を教職員に配付し、活用しているが、今後はNPO等と連携し、児童・生徒の心のケアを含めた取り組みをしてはどうか。

日本共産党足立区議団

出口見えないコロナ禍から

くらし・命支える区政を

日本共産党 はたの 昭彦 議員



保育体制の柔軟な整備を

【問】感染拡大による保育園と幼稚園の休園で、保護者は仕事を休まざるを得ない場合もあり、特にシングルマザー等はすぐに生活困窮に陥りかねない。「子ども預かり・送迎支援事業」を柔軟に運用する等、保育体制を整えるべきだがどうか。

子ども 「子ども預かり・送迎支援事業」

【問】中小企業への緊急融資は、コロナ終息も景気回復も見通せない中で返済が始まる。国や都

独自支援で区内事業者を救え

【問】コロナ禍で経済的負担が増している今こそ、子育て世代の負担軽減は重要である。都が令和5年度から実施する18歳までの医療費無料化の助成制度を利用するため、条例を改正し、医療費無料化の対象を高校生まで拡大するべきだがどうか。

【福祉】令和4年2月16日の特別区長会で、都から財源や事業内容は決まっていらないと説明があつたため、都の基本的な考え方を改めて区長会に説明するよう求めた。区の方針決定については、都の説明を待ちたい。



生きがい奨励金を復活させよ

【問】奨励金の廃止後も復活を求める署名が区長に1万筆届けられ、友愛クラブ連合会等からも声が寄せられている。外出支援によるフレイル予防や地域経済を活性化できる生きがい奨励金を復活し、区民の声に応えるべきではないか。

生涯学習 生きがい奨励金の復活を望む意見等は認識しているが、高齢者施策事業への組み替えは、高齢者の健康等を守ることに寄与していると考えている。今後意見に対し真摯に向き合い、丁寧な説明を行うが、廃止を見直す考えはない。

実情に合った紙おむつ支給を

【問】高齢者の紙おむつ支給は、入院時に介護度と関係なく申請できるように改善し、住民税非課税世帯要件を外すべきではないか。少なくとも予算減額を撤回すべきではないか。

福祉 紙おむつ支給は所得の低い、真に支援が必要な方を対象としているため、現在の要件を見直す考えはない。

気候危機打開の対策を急げ 公園整備に住民の声を

日本共産党 横田 ゆう 議員



また、入院中でも介護度の確認は必要であり、認定の有無に関わらず支給する考えはなく、

令和3年度の実績に基づいて計上した令和4年度予算の減額を撤回することも考えていない。

プラスチック分別収集を進めよ

【問】ペットボトルとトレイ以外の全プラスチックを燃やすサーマルリサイクルを区は「現時点では最適」としているが、プラスチックごみを燃やし続けることは地球温暖化防止に逆行していると、わが党は指摘し続けてきた。国のプラスチック資源循環促進法に先行し、全プラスチック製容器包装の分別収集を進めるべきだがどうか。

環境 法の内容を踏まえ、全プラスチック類の分別収集に向け、回収量の推計、収集運搬経費、CO2削減効果を算出し、事業スキーム構築の検討を進める。

地域住民の声を反映した公園へ

【問】舎人・古千谷本町地区は高齢化が進む一方で日暮里・舎人ライナーの開通で子育て世帯も急増している。区は令和4年に舎人三丁目の生産緑地を取得し、都市計画公園に位置付ける



更にアップグレードして誰も がもっと好きになる足立へ

立憲民主党 銀川 ゆい子 議員



【問】23区中半数以上が客引きを禁止する条例を制定している。足立区も客引き禁止条例を制定

すること、本気で抑止するアピールにもなる。条例制定の時機に考えていると思うがどうか。

【危機管理】条例を制定している数区に確認した際、パトローパーがいる時だけ客引きをやめる等、様々な課題があるとの意見があった。今後、条例制定の効果や過料を条例に含めた場合の実効性等を検討していく。



梅島駅と小菅駅に交通広場を

【問】区内鉄道の交通広場は、北千住駅東口、五反野駅前が完成し、竹ノ塚駅東西や西新井駅

足立区議会改革を全力で推し進める会

【問】区内鉄道の交通広場は、北千住駅東口、五反野駅前が完成し、竹ノ塚駅東西や西新井駅

みんなにやさしい・誰にでもやさしい街・足立区を

議会改革推進 長谷川 たかこ 議員



不登校・ヤングケアラー支援の充実を

【問】不登校やヤングケアラーの子どもたちが積極的にオンライン授業を活用できる体制を構築することを強く要望する。西伊興小学校の先進的な事例を全校に広げ、様々な選択肢を用意することが、公平な教育機会の確保につながるがどうか。

【教育長】オンライン授業を登校支援に活用することで、対面支援が困難なケースも改善に結

